



2026年4月27日

各位

会社名 株式会社きんでん
 代表者名 取締役社長 上坂 隆勇
 (コード:1944 東証プライム)
 問合せ先 常務執行役員経理部長 吉原 紳悟
 (TEL:06-6375-6000)

剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、2026年4月27日開催の取締役会において、下記のとおり、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

なお、本件は2026年6月24日開催予定の当社第112回定時株主総会の承認を経て正式に決定する予定です。

記

1. 2026年3月期 期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026年1月29日修正)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり 配当金	70円00銭	65円00銭	50円00銭 (普通配当45円+記念配当5円)
配当金総額	13,859百万円	—	9,937百万円
効力発生日	2026年6月25日	—	2025年6月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、長期的な視点に立ち、競争力の源泉である人的資源を軸とした事業基盤拡充を積極的に行い、さらなる持続的成長・発展を遂げていくことこそが、全てのステークホルダーの長期的な利益に資するものと考えております。

そのなかで、株主各位への利益配分は今後も経営の重要課題の一つと位置付け、安定的かつ継続的な配当を基本方針とし、業績及び財務の状況を踏まえて実施して参ります。

また、利益配分の機会の充実を図るために中間配当制度を実施し、記念すべき節目や期ごとには記念配当を行うなど、株主重視の経営を目指しています。

1株当たりの年間配当の額は、業績予想をもとに算出した年間配当の額の半額を中間配当としてお支払いし、期末時点で確定した業績等により算出した年間配当の額から中間配当を差し引いたものを期末配当とすることとしております。

上記基本方針及び当社の資本政策に基づき、当期（2026年3月期）の期末配当金につきましては、1株当たり65円とさせていただいておりましたが、当期の業績等を踏まえ、さらに5円増配し、1株当たり70円を予定しております。

この結果、当期の年間配当金は、中間配当金60円を加えて、1株当たり130円となります。

なお、次期（2027年3月期）は、1株当たりの年間配当金を240円（普通配当140円+中期経営計画・成長指標達成に伴う特別配当100円）と予定しており、そのうち120円（普通配当70円+中期経営計画・成長指標達成に伴う特別配当50円）を中間配当金とし、120円（普通配当70円+中期経営計画・成長指標達成に伴う特別配当50円）を期末配当金とする予定です。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
次期予想	120円00銭 (普通配当70円+特別配当50円)	120円00銭 (普通配当70円+特別配当50円)	240円00銭 (普通配当140円+特別配当100円)
当期実績	60円00銭	70円00銭	130円00銭
前期実績	40円00銭 (普通配当35円+記念配当5円)	50円00銭 (普通配当45円+記念配当5円)	90円00銭 (普通配当80円+記念配当10円)

以上